Requested Patent

JP9218640A

Title:

#### EDUCATION SYSTEM CORRESPONDING TO TEXT BOOKS FOR SCHOOL USE;

Abstracted Patent:

JP9218640;

**Publication Date:** 

1997-08-19;

Inventor(s):

AKIOKA ISAO; NISHIGORI NORIKO;

Applicant(s):

GENEKIKAI:KK;

**Application Number:** 

JP19960297093 19961021;

Priority Number(s):

IPC Classification:

G09B19/08; B42D15/00;

Equivalents:

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To guide to the points in a short time by giving priority to important points based on textbooks other than at school and to prepare for an entrance examination of a university by reasonably and easily improving scholastic ability and results. SOLUTION: A student requests by fax for a unit of explanatory prints of a textbook on his desired subject by a sheet of questionaire 22 according to a degree of own progress in each school subject. An educational institution requested by the student distributes the explanatory prints on the text book to the student by fax. Also, the student mentions the names of the teaching materials in use at school and his questions by using the above questionaire and requests for a reply by fax. The educational institution requested for the reply from the student distributes a reply to the questions by fax or replies to him by phone.

AI

#### (19)日本国特許庁(JP)

## (12) 公開特許公報(A)

(11)特許出願公開番号

## 特開平9-218640

(43)公開日 平成9年(1997)8月19日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	FΙ	技術表示箇所
G 0 9 B 19/08			G 0 9 B 19/08	
B 4 2 D 15/00	301		B42D 15/00	301J
	•			301K

#### 審査請求 未請求 請求項の数1 FD (全 9 頁)

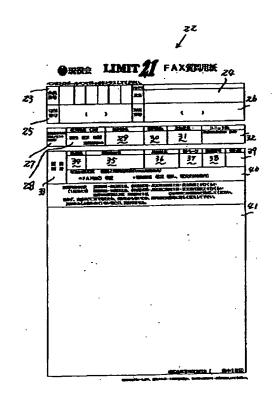
		小山田田田	Methods Billion Man = 1 = 1 m = 20
(21)出願番号	<b>特願平8-297093</b>	(71)出顧人	596031125
	実顕平8-11404の変更		株式会社現役会
(22) 出顧日	平成8年(1996)2月9日		東京都新宿区百人町2丁目4番1号
		(72)発明者	秋岡 薫
			藤沢市锡沼海岸2丁目11番12号
		(72)発明者	錦織 典子
			東京都府中市若松町3丁目30番56号
		(74)代理人	弁理士 佐藤 孝雄

#### (54) 【発明の名称】 学校使用の教科書対応教育システム

#### (57)【要約】 (修正有)

【課題】 学校外で教科書に基づき、短時間で要領よく 大切な箇所を重点的に指導し、自然に無理なく学力、成 績を向上させて大学受験等に備える。

【解決手段】 受講生は自分の各教科の授業の進行度に応じて、質問用紙22により所望教科の教科書解説プリント1ユニット分をファクシミリで請求する。請求された教育機関では該当教科書解説プリントを受講生宛ファクシミリにより配布する。また、受講生は、前記質問用紙を用いて学校使用の教材の教材名と質問事項を記載し、ファクシミリにより質問請求する。請求された教育機関では受講生の希望により、質問に対する回答書をファクシミリで配布するか又は電話で回答する。



#### 【特許請求の範囲】

【請求項1】 学習教材登録カードを備えて、受講生の所属する高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている英語、数学、国語等の各教科毎の文部省検定済教科書名、教科書番号及び出版社名を記載自在とし、教科書対照表を備えて、受講生が1回の請求で行える教科書解説プリントの範囲を限定する複数のユニット番号を表示し、質問用紙を備えて、受講生が所属する高等学校等の各教科の授業進行度等に合せて、受講生が必要とする部分の学校使用の教科書のユニット番号を記載自在とし、教科書解説プリントを備えて、受講生からの質問請求に応じたユニット番号の部分の解説指導書を配布することを特徴とする学校使用の教科書対応教育システム。

#### 【発明の詳細な説明】

#### [0001]

【発明の属する技術分野】本発明は高等学校等で生徒の 授業用に実際に使用されている文部省検定済教科書を基 本にし、生徒を学校外で個別的に教育指導することので きる新規な学校使用の教科書対応教育システムに関す る。

#### [0002]

【従来の技術】従来、各種の予備校、学習塾等において 生徒を教育指導する場合、教育対象の生徒の学力差等に 対応した幾つかの指導段階に分けて、独自に作成した複 数の教材を用いて各種の教科指導を行い、各生徒の学力 に応じた受験等のための教育指導を行っていた。

【0003】また、高等学校等で生徒の授業用に実際に 使用されている文部省検定済教科書を基本にして、学校 外で生徒を教育指導することのできる学校使用の教科書 対応教育システムを採用している予備校、学習塾等の受 験教育機関はなかった。

#### [0004]

【発明が解決しようとする課題】しかしながら、近年、例えば高等学校に入学した場合、大量のカリキュラムを制限時間内でこなさなくてはならないため、授業の進行が速く、入学後しばらくするとかなりの数の生徒は消化不良に陥ってしまい、授業についていける僅かな生徒だけが授業内容を理解できるといった場合が多く、この点の改善が望まれていた。

【0005】また、各種の教科書は、先生が直接教室で生徒に教授することを前提に作成されているため、授業中に教科書の内容等を理解できない場合は、授業後家庭等で独力で復習しようとしても、教科書の内容を的確に理解し、学力を身につけることは困難であった。

【0006】このため、高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている文部省検定済教科書を基本にし、学校外で教科書にもとづいて生徒を教育指導し、家庭での教科書の事前の予習と学校での授業後の復習を重ねることによって、毎日の授業内容がよく理解でき、自然に無理なく学力が向上して大学受験等に備えることのできる

学校使用の教科書対応教育システムの開発が強く望まれていた。

【0007】本発明の目的は、従来の受験教育指導に対する考え方を根底から変え、大学受験等はあくまでも高等学校等の授業の延長線上にあるものとして捉え、高等学校等における生徒の学力、成績を高めて大学等の受験に際して容易に合格するために、高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている文部省検定済教科書を基本にし、学校外でこの教科書にもとづいて、短時間で要領よく大切な箇所を重点的に生徒を教育指導し、家庭での教科書の事前の予習と学校での授業後の復習を毎日重ねることによって、毎日の授業がよく理解でき、自然に無理なく学力、成績が向上して大学受験等に有利に備えることのできる学校使用の教科書対応教育システムを提供するものである。

#### [8000]

【課題を解決するための手段】本発明は、上記課題を解決するためになされたものであり、以下に述べる手段を採用する。本発明は、学習教材登録カードを備えて、受講生の所属する高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている英語、数学、国語等の各教科毎の文部省検定済教科書名、教科書番号及び出版社名を記載自在とし、教科書対照表を備えて、受講生が1回の請求で行える教科書解説プリントの範囲を限定する複数のユニット番号を表示し、質問用紙を備えて、受講生が所属する高等学校等の各教科の授業進行度等に合せて、受講生が必要とする部分の学校使用の教科書のユニット番号を記載自在とし、教科書解説プリントを備えて、受講生からの質問請求に応じたユニット番号の部分の解説指導書を配布することを特徴とする。

【0009】また、本発明は、学習教材登録カードを備 えて、受講生の所属する高等学校等で生徒の授業用に実 際に使用されている英語、数学、国語等の各教科毎の文 部省検定済教科書名、教科書番号及び出版社名を記載自 在とし、前記学習教材登録カードに受講生の所属する高 等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている英語、 数学、国語等の各教科毎の問題集、プリント等の教材名 及び出版社名を記載自在とし、教科書対照表を備えて、 受講生が1回の請求で行える教科書解説プリントの範囲 を限定する複数のユニット番号を表示し、質問用紙を備 えて、受講生が所属する高等学校等の各教科の授業進行 度等に合せて、受講生が必要とする部分の学校使用の教 科書のユニット番号を記載自在とし、前記質問用紙に学 校使用の教材の教材名と質問事項を記載自在とし、教科 書解説プリントを備えて、受講生からの質問請求に応じ たユニット番号の部分の解説指導書を配布し、受講生の 質問に対する回答書を配布し又は回答することを特徴と する。

【0010】本発明は、学習教材登録カードに、受講生の所属する高等学校等で生徒の授業用に実際に使用され

ている英語、数学、国語等の各教科毎の文部省検定済教科書名、教科書番号及び出版社名、受講生の所属する高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている英語、数学、国語、理科、地歴・公民等の各教科毎の問題集、プリント等の教材名及び出版社名、受講生の所属する高等学校等の学校名及び学年、受講生の会員番号、住所、氏名、電話番号及びファクシミリ番号をそれぞれ記載自在としたことを特徴とする。

【0011】本発明は、学習教材登録カードに、受講生の所属する高等学校等で行われる各学期毎の中間試験、期末試験、その他の試験の実施時期、クラブ活動の大会・合宿等、体育祭、文化祭、修学旅行等の学校行事をそれぞれ記載自在としたことを特徴とする。

【0012】本発明は、教科書対照表に、英語においては原則として1レッスン分を1ユニットの範囲としてユニット番号を表示し、数学においては原則として1節分を1ユニットの範囲としてユニット番号を表示し、国語においては原則として1章分を1ユニットの範囲としてユニット番号を表示したことを特徴とする。

【0013】本発明は、教科書対照表に、英語において は原則として1レッスン分を1ユニットの範囲としてユ ニット番号を表示し、例外としてレッスンとレッスンの 間にある、例えば、文法の解説や歌、詩、パズル等は直 前のレッスン分に含めて1ユニットの範囲としてユニッ ト番号を表示し、及び3頁以上にわたる読み物はそれ自 体で1レッスン分の1ユニットの範囲としてユニット番 号を表示し、数学においては原則として1節分を1ユニ ットの範囲としてユニット番号を表示し、例外として節 の表示のない章においては、学習内容によってユニット 分けして1ユニットの範囲としてユニット番号を表示 し、国語においては原則として1章分を1ユニットの範 囲としてユニット番号を表示し、例外として章の明示の ない教科書においては、随筆・評論は、それ自体で1ユ ニットの範囲として、詩・小説は、それ自体で1ユニッ トの範囲として、古文は、それ自体で1ユニットの範囲 として及び漢文は、それ自体で1ユニットの範囲として ユニット番号を表示したことを特徴とする。

【0014】本発明は、質問用紙に、受講生の会員番号、氏名、電話番号、ファクシミリ番号を記載自在とし、前記質問用紙に教科書解説プリント請求欄を設けて、希望教科、教科書名、教科書番号、出版社名、ユニット番号を記載自在とし、前記質問用紙に質問欄を設けて、教科名、登録教材名、出版社名、何頁、問題番号、何行目、希望回答方法を記載自在とし、前記質問用紙に質問事項記載欄を設けたことを特徴とする。

【0015】本発明は、教科書解説プリントに、教科書 対照表に表示されたユニット番号に対応する部分の解説 を記載したことを特徴とする。

【0016】このように本発明は、従来の受験教育指導 に対する考え方を根底から変え、大学受験等はあくまで も高等学校等の授業の延長線上にあるものとして捉え、 高等学校等における生徒の学力、成績を高めて大学等の 受験に際して容易に合格するために、高等学校等で生徒 の授業用に実際に使用されている文部省検定済教科書を 基本にし、学校外でこの教科書にもとづいて、短時間で 要領よく大切な箇所を重点的に生徒を教育指導し、家庭 での教科書の事前の予習と学校での授業後の復習を毎日 重ねることによって、毎日の授業がよく理解でき、自然 に無理なく学力、成績が向上して大学受験等に有利に備 えることのできる学校使用の教科書対応教育システムで ある。

#### [0017]

【発明の実施の形態】以下、本発明の学校使用の教科書 対応教育システムを図に示される実施形態について更に 詳細に説明する。図1及び図2には、本発明の一実施形態に係る学習教材登録カード1a、1bが示されてい る。この登録カード1a、1bは1枚の用紙の表と裏に 表示されて、学習教材登録カード1を構成している。

【0018】図1に示される実施形態の学習教材登録カード1aには、受講生の所属する高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている英語、数学、国語の各教科毎の文部省検定済教科書名と教科書番号2a、2b、2cと出版社名3a、3b、3cとを記入する記載欄が表示されている。このように受講生の学校使用の教科書を特定して予め登録することにより、以後の教育指導を的確かつ容易に行うことができる。

【0019】また、前記学習教材登録カードには、受講生の所属する高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている英語、数学、国語の各教科毎の問題集、プリント等の教材名4a、4b、4cと出版社名5a、5b、5cとを記入する記載欄が表示されている。このように受講生の学校使用の教材を特定して予め登録することにより、以後の教育指導を的確かつ容易に行うことができる。

【0020】更に、前記学習教材登録カード1aには、受講生の会員番号6、都道府県7、所属学校名8及び学年9、受講生の氏名10、住所11、電話番号12及びファクシミリ番号13をそれぞれ記入する記載欄が表示されている。これらの情報の記載欄を設けたことにより、受講生との個別連絡等が容易となる。

【0021】図2に示される実施形態の学習教材登録カード1bには、受講生の所属する高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている理科、地歴・公民の各教科毎の文部省検定済教科書名と教科書番号14a、14bと出版社名15a、15bをそれぞれ記入する記載欄が表示されている。このように受講生の学校使用の教科書を特定して予め登録することにより、以後の教育指導を的確かつ容易に行うことができる。

【0022】また、前記学習教材登録カード1bには、 受講牛の所属する高等学校等で生徒の授業用に実際に使 用されている理科、地歴・公民の各教科毎の問題集、プリント等の教材名16a、16bと出版社名17a、17bをそれぞれ記入する記載欄が表示されている。このように受講生の学校使用の教材を特定して予め登録することにより、以後の教育指導を的確かつ容易に行うことができる。

【0023】更に前記学習教材登録カード1bには、受講生の会員番号6、都道府県7、所属学校名8、受講生の氏名10それぞれ記入する記載欄が表示されていると共に、受講生の所属する高等学校等で行われる各学期毎の中間試験、期末試験、その他の試験の実施時期18 a、18b、18c、クラブ活動の大会・合宿等19、体育祭、文化祭、修学旅行等20の学校行事をそれぞれ記入する記載欄が表示されている。このような学校行事の記載欄を設けたことにより、受講生個々の年間行事、特に重要な試験の期日等を予め把握することができ、個別的な学習プログラムを立てることが可能となり、きめの細かい教育指導を行うことができる。

【0024】この学習教材登録カード1a、1bによって、受講生の所属する学校で使用されている各教科の教科書及び各種の教材が登録され、これにもとづいて個々の受講生の個別的かつきめ細かな教育指導を行うことができる。また、受講生の所属する学校での年間行事等も同時に登録されるため、年間行事を参考にした個別的かつ能率的な教育指導も併せて可能となる。

【0025】図3、図4及び図5に示される実施形態の 教科書対照表21a、21b、21cには、受講生が1 回の請求で行える教科書解説プリントの範囲を限定する 複数のユニット番号が表示されており、この教科書対照 表21a、21b、21cは、受講生が所属する高等学 校等で使用されている教科書の内容に対応するものであ る。

【0026】また、図3、図4及び図5に示される実施 形態の教科書対照表21aは、英語の教科書の場合を示 し、21bは数学の教科書の場合を示し、21cは国語 の教科書の場合を示すが、図示しないがこれらの教科に 限定されることなく、理科(物理、化学、生物)の教科 書の場合及び地歴・公民科(日本史、世界史、地理)の 教科書の場合においても、同様のユニット分けにより対 照表を作成することができる。

【0027】この教科書対照表21は、受講生が1回の請求で行える教科書解説プリントの範囲を1ユニット分に限定すると同時にこの教科書対照表21を利用することにより、受講生の所属する学校での各教科の授業の進行度に応じて、受講生が適宜教科書解説プリントを請求することができ、学校での授業内容に対応した教科書の予習、復習に効果的であるばかりでなく、授業内容の理解が容易となる。この教科書対照表21に表示されている1ユニット分は、学校での授業のほぐ1週間分に相当し、例えば、週末に次週の授業内容の1ユニット分の教

科書解説プリントを請求することにより、土曜日、日曜日を利用して、1週間分の予習が可能となるばかりでなく、次週の授業後の復習も能率的に行うことできる。

【0028】図3の教科書対照表21aは、英語におけるユニット番号の表示を示すものであり、英語においては原則として1レッスン分を1ユニットの範囲としてユニット番号、すなわちユニット1、2、3……として表示され、例外としてレッスンとレッスンの間にある、例えば、文法の解説や歌、詩、パズル等は直前のレッスン分に含めて1ユニットの範囲としてユニット番号が表示され、及び3頁以上にわたる読み物はそれ自体で1レッスン分の1ユニットの範囲としてユニット番号が表示されている。

【0029】図4の教科書対照表21bは、数学におけるユニット番号の表示を示すものであり、数学においては原則として1節分を1ユニットの範囲としてユニット番号、すなわちユニット1、2、3……として表示され、例外として節の表示のない章においては、学習内容(例えば、指数関数と対数関数)によってユニット分けして1ユニットの範囲としてユニット番号が表示されている。

【0030】図5の教科書対照表21cは、国語におけるユニット番号の表示を示すものであり、国語においては原則として1章分を1ユニットの範囲としてユニット番号、すなわちユニット1、2、3……として表示され、例外として章の明示のない教科書においては、例えば、随筆・評論は、それ自体で1ユニットの範囲として、詩・小説は、それ自体で1ユニットの範囲として、古文は、それ自体で1ユニットの範囲として及び漢文は、それ自体で1ユニットの範囲として及び漢文は、それ自体で1ユニットの範囲としてユニット番号が表示されている。

【0031】図6に示す質問用紙22には、受講生の会員番号23、氏名24、電話番号25、ファクシミリ番号26の記載欄がそれぞれ表示されており、前記質問用紙22には教科書解説プリント請求欄27を設けて、希望教科28、教科書名29、教科書番号30、出版社名31、ユニット番号32の記載欄がそれぞれ表示されている。

【0032】前記質問用紙22には更に質問欄33が設けられ、数科名34、登録教材名35、出版社名36、何頁37、問題番号38、何行目39、希望回答方法40の記載欄がそれぞれ表示されている。前記質問用紙22には空白の質問事項記載欄41が設けられており、受講生が所望の質問事項を具体的に記載することができる。

【0033】図7に示すものは英語の教科書解説プリント42であり、図8に示すものは数学の教科書解説プリント43であり、図9に示すものは国語の教科書解説プリント44である。これらの教科書解説プリント42、43、44は、教科書対照表に示す1ユニットを単位と

して作成されている。

【0034】前記教科書解説プリント42、43、44 の各頁には、教科書名、教科書番号、出版社名、ユニッ ト番号、対応する教科書の該当頁及び表題等のインデッ クス45が表示されており、このインデックス45が表 示されていることにより、受講生の請求に対して間違い なく正確に対応することができる。と同時に、受講生に おいてもこのインデックス45に従って教科書解説プリ ント42、43、44は容易に整理することができる。 【0035】この教科書解説プリント42、43、44 は、教科書を完全に理解することができる内容とされて おり、具体的な解説内容としては、以下の通りである。 先ず、英語にあっては、授業完全対策(全訳解説)、試 験対策(重要語句の解説)、問題の解答と解説、重要文 例事項の解説、教科書完全理解の解説、中間・期末試験 対策の解説等であり、数学にあっては、授業完全対策の 解説、重要公式完全整理の解説、予習、復習の重要ポイ ントの解説、例題の解答と考え方の解説、模範解答、教 科書完全理解の解説、中間・期末試験対策の解説等であ り、国語にあっては、授業完全対策の解説、試験対策 (重要語句の解説)、問題の解答と解説、重要句法・語 句の解説、教科書完全理解の解説、中間・期末試験対策 の解説等である。

【0036】本発明は上記のように構成されていることにより、先ず、受講生は自分の各教科の授業の進行度に応じて、質問用紙22を用いて所望する教科の教科書解説プリント1ユニット分をファクシミリにより請求する。請求された教育機関では該当の教科書解説プリントを受講生宛ファクシミリにより配布する。また、受講生は、前記質問用紙22を用いて学校使用の教材の教材名と質問事項を記載してファクシミリにより質問請求する。請求された教育機関では受講生の希望により、質問に対する回答書をファクシミリで配布し又は電話で回答する。

#### [0037]

【発明の効果】以上説明したように、本発明の学校使用の教科書対応教育システムによれば、高等学校等における生徒の学力、成績を高めて大学等の受験に際して容易に合格するために、高等学校等で生徒の授業用に実際に使用されている文部省検定済教科書を基本にし、学校外でこの教科書にもとづいて、短時間で要領よく大切な箇所を重点的に生徒を教育指導することができるものである。また、家庭での教科書の事前の予習と学校での授業後の復習を毎日重ねることでき、毎日の授業がよく理解でき、自然に無理なく学力、成績が向上して大学受験等に有利に備えることのできるものである。

#### 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の一実施形態に係る学習教材登録カード を示す説明図である。

【図2】本発明の一実施形態に係る学習教材登録カード

を示す説明図である。

【図3】本発明の一実施形態に係る教科書対照表を示す 説明図である。

【図4】本発明の一実施形態に係る教科書対照表を示す 説明図である。

【図5】本発明の一実施形態に係る教科書対照表を示す 説明図である。

【図6】本発明の一実施形態に係る質問用紙を示す説明 図である。

【図7】本発明の一実施形態に係る教科書解説プリント を示す説明図である。

【図8】本発明の一実施形態に係る教科書解説プリントを示す説明図である。

【図9】本発明の一実施形態に係る教科書解説プリントを示す説明図である。

#### 【符号の説明】

1a、1b 教材登録カード

2a、2b、2c 教科書名と教科書番号

3a、3b、3c 出版社名

4a、4b、4c 教材名

5a、5b、5c 出版社名

6 会員番号

7 都道府県

8 所属学校名

9 学年

10 氏名

11 住所

12 電話番号

13 ファクシミリ番号

14a、14b 教科書名と教科書番号

15a、15b 出版社名

16a、16b 数材名

17a、17b 出版社名

18a、18b、18c 試験の実施時期

19 クラブ活動の大会・合宿等

20 体育祭、文化祭、修学旅行等

21a、21b、21c 教科書対照表

22 質問用紙

23 会員番号

24 氏名

25 電話番号

26 ファクシミリ番号

27 請求概

28 希望教科

29 教科書名

30 教科書番号

31 出版社名

32 ユニット番号

33 質問欄

34 教科名

- 35 登録教材名
- 36 出版社名
- 37 何頁
- 38 問題番号
- 39 何行目

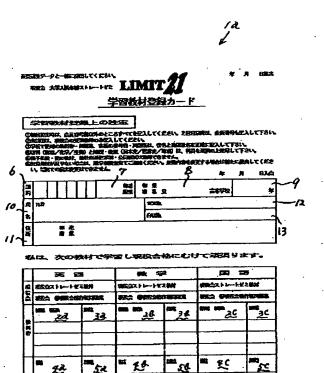
40 希望回答方法

41 質問事項記載欄

42、43、44教科書解説プリント

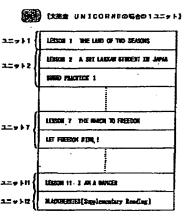
45 インデックス





【図3】

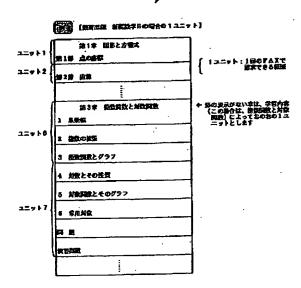
ZIZ

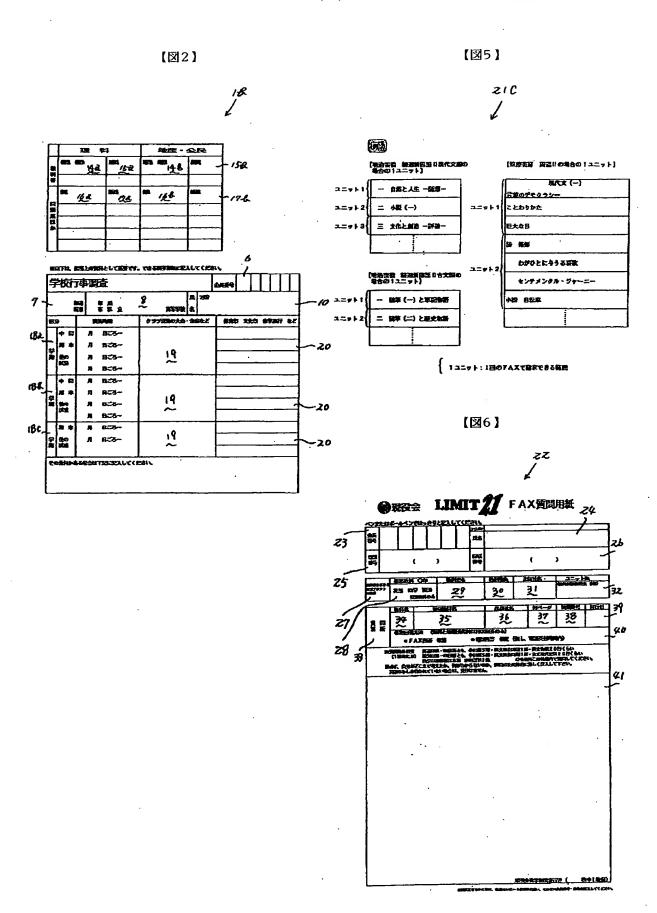


▼ 1.1.2 × トニート 1.1 ×

【図4】

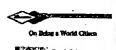
218





【図7】





# 試験対策(重要語句)

aboutと同じ意味だが、GOカがより学 同的・専門的な対象について用いられるこ

irpin。 例) a bode os comusio (投資に同する年)

- · Internationalize 「~を開発化する」 表現形はinternationalization (関係化) a world citizes 「関係人」
- samus 「今日では」 ides 「めったに~ない」 · actidos · actidos · seldom 「おったに~ない」 bears (けっして~ない: 恐い気定) など とはちがい。「恐い否定」を表す。 例) b: is seldon lato for admal。 (単比りること学校で表れない) seldon と同様に弱い否定を表す無として。

今日では「国際化」(という言葉) はとても よく使われる。 しかし私たちはその意識が何を 意味するか文も止まって考えることはあったに ΔW.

ない。 この随等 (小熊) ではエドウィン・ライシャ ウー (1910—1907) (彼は1911年から1940年ま で名日アメリカ大変をったのだが) が、 乾々日 水人が四巻とし、全部の間形人になるには何を すべきか響っている。

どうすれば森々各自が原理をし、原理人にな れるだろうか。最初のステップは、いうまでも なく、より広い知識を哲行することである。最 々はみな他の民族のことや他の人々のおえ方に ついてもっと知る必要がある。

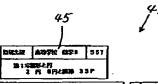
hardly, starsouly, torsily などがある。 - mat. 「音味する」 - arbameder 「子(他) 2. abriantly 「男らかこ」 2. aoguire 「一を開発する」 男力をして何かをつかひというニュアン

スがある。

(F) He acquired the shility to speak logist.

Mell de. (彼は英語を留せるようになった) 3. boxeden 「知識」 4. rest 「既り」 利) De rest of the beal (点準の扱り) 5. statistics 「既計」 表表点い 6. relatively 「比較的」 7. begard 「よく考える」

【図8】





中当 五八 - リトリ ハル・ビリス 間の記念され ME F A CO. II 6406 L. GE 047454 KEEF GES

morns ---- A mosts where and with and

COLS. BESIDEN, 13-10.

Adopos postotke-2166 recessedancols Labor معالزازات ATC. #00000/00/ (r-trycy-trus

MN 44. T 444. M -- 11

#### 製業解答 テスト対策 国

Defallmentant res これを称くと mm-1 1 1 ONEXTEE INTER A SPEE LIMITS

### 教科書完全理解

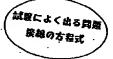
盤毛をしっかり見味しよう

(MEC) の PSAのなる場合的のではない の PSAのなる場合的のではないから、 R ペータののではなっていないではないから、 R ペータののではあることにして、他ののな しかし、とのOSTに得ることにして、他ののな Mein, n) ts (t [1] MOOSBELL metar-L

[1] 新聞の方面には 本でもかっし ことで たま パル、カーの が後い。 日を書る 一本 可な 月の の中 が何り立つ ことを図 添かりから 一一の (1) 数点が可以上であることから かりまから ーーの の、から ル、まを与ることができて報答 のが取かがあるれ。 生た、次のようにきよる ことなりる。 ・無数は、物に関すているも、そのがまな ・無数は、物に関すているも、そのがまな ・無数は、物に関すているも、そのがまな ・無数は、物に関すているも、そのがまな ・一の となくる

y==(1-3)+1 -- ⊕ £#< £ |-4=+1| |##+|-1| E o T dm -4m+1-m+1

20°-00-00 and \$ (かった人すると y=1、ねー\*\*\*y=3 のった人すると y=1, ねー\*\*y=2\* の内部におると の、対策・メーシップ は、なきからこのがに くり・センつの関係的とよる私に関係が対象と



BEST AVAILABLE COPY

